

法人会ニュース

# そうそう

第 8 号

発行所  
相馬市中村字桜ヶ丘71  
(株)相双法人会  
発行人  
会長 酒井利治  
編集  
広報委員会  
発行月日  
平成10年7月30日

## 「日本の水浴場55選」に選ばれた



支部自慢コーナー

### ⑧ 双葉町

環境庁は、水質が良く安全で、家族で楽しめる海、湖、川の水浴場の中から全国38都道府県で55ヶ所を選び「日本の水浴場55選」と

## 双葉海水浴場

毎号の表紙は、各支部の自慢の風景・祭り・ながめ等を載せご紹介します。

して発表した。

本県からは、双葉町の双葉海水浴場が選ばれた。選定は「遊泳人口が海では約1万人以上、湖・川では5千人以上」の条件に合う、43都道府県の810水浴場を環境庁がリストアップ。

この中から、

- ①この3年間の水質の評価が最高のクラスにある
- ②公共交通機関などが整っている
- ③監視・救護体制など安全性が確保されている

などの条件を満たす、38都道府県186の水浴場の推薦を受けた。

双葉海水浴場は、双葉町東部の郡山海岸と周辺を町が海浜公園に整備した。海岸を一望できる三角尾根のレジャー・休憩施設「マリーンハウスふたば」がシンボルで、白い砂浜と松林の眺めが美しい。遠浅で波穏やかなため、7月中旬から8月末までのシーズン中には、大勢の家族連れが訪れる。

海浜公園は、砂浜のほかに、キャンプ場、バードウォッチングが楽しめる遊歩道、テニスコート等が備えてあります。

# 第23回 通常総会開催

○ 収入の部 平成10年度 収支予算書 (単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
会 費 収 入	12,218,000	12,502,000	△ 284,000	1,793社 (内 同族会社95社)
入 会 金 収 入	400,000	885,000	△ 485,000	80社
事 業 収 入	500,000	300,000	200,000	懇親会会費外
補 助 金 収 入	3,470,000	3,890,300	△ 420,300	県連補助外
推 進 費 収 入	4,238,000	4,274,700	△ 36,700	大型保障制度等
利 子 収 入	1,000	24,000	△ 23,000	預金利息
雑 収 入	1,000	1,000	0	
当期収入合計 (A)	20,828,000	21,877,000	△ 1,049,000	
前年度繰越金	3,550,408	3,530,963	19,445	
収 入 合 計 (B)	24,378,408	25,407,963	△ 1,029,555	

○ 支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
1. 事 業 費	11,613,000	13,073,000	△ 1,460,000	
社会貢献活動費	0	1,300,000	△ 1,300,000	
研 修 会 費	1,778,000	1,760,000	18,000	研修会・図書補助
広 報 費	2,369,000	2,556,000	△ 187,000	会報・ほうじん (郵便料含)
支 部 費	5,708,000	5,798,000	△ 90,000	還元金・会費 早期納入奨励金外
会員関係費	508,000	359,000	149,000	総会葉書・諸表彰費 外
公益事業費	200,000	250,000	△ 50,000	諸負担金
青年・女性 部 会 補 助	850,000	850,000	0	青年・女性部会へ
慶 弔 費	200,000	200,000	0	慶弔関係
2. 会 議 費	2,635,000	2,580,000	55,000	
会 議 費	2,635,000	2,580,000	55,000	総会・役員会・委員 会外
3. 管 理 費	9,517,000	9,299,000	218,000	
給与・賞与	5,976,000	5,871,000	105,000	職員給料等
法定福利費	325,000	320,000	5,000	社会保険料
福利厚生費	84,000	84,000	0	中退共掛金
旅 費	1,000,000	1,000,000	0	出張旅費等
通 信 費	400,000	400,000	0	電話・郵送料
備 品 費	100,000	50,000	50,000	
消 耗 品 費	100,000	100,000	0	事務用品等
印 刷 費	600,000	572,000	28,000	議案書・葉書 コピー料・定款
賃 借 料	566,000	566,000	0	事務所賃借料
公 租 公 課	100,000	70,000	30,000	各種税金
保 守 料	75,000	75,000	0	パソコン保守料
リ ー ス 科	91,000	91,000	0	ファックス
雑 費	100,000	100,000	0	
4. 予 備 費	613,408	455,963	157,445	
当期支出合計 (C)	24,378,408	25,407,963	△ 1,029,555	
当期収支差額 (A) - (C)	△ 3,550,408	△ 3,530,963	19,445	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	0	0	

○ 収入の部 平成9年度 収支決算書 (単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
会 費 収 入	12,502,000	12,278,000	224,000	1,799社 (内 同族会社90社)
入 会 金 収 入	885,000	135,000	750,000	27社
事 業 収 入	300,000	550,000	△ 250,000	懇親会会費・祝金外
補 助 金 収 入	3,890,300	4,825,620	△ 935,320	県連補助
推 進 費 収 入	4,274,700	4,542,598	△ 267,898	大型保障制度等
利 子 収 入	24,000	19,363	4,637	預金利息
雑 収 入	1,000	38,627	△ 37,627	手数料等
当期収入合計 (A)	21,877,000	22,389,208	△ 512,208	
前年度繰越金	3,530,963	3,530,963	0	
収 入 合 計 (B)	25,407,963	25,920,171	△ 512,208	

○ 支出の部

科 目	予算額	決算額	比較増減	備 考
1. 事 業 費	13,073,000	11,322,311	1,750,689	
社会貢献活動費	1,300,000	1,520,755	△ 220,755	
研 修 会 費	1,760,000	1,426,406	333,594	研修会・図書補助
広 報 費	2,556,000	1,633,825	922,175	会報・ほうじん (郵便料含)
支 部 費	5,798,000	5,194,700	603,300	還元金・会費 早期納入奨励金外
会員関係費	359,000	357,925	1,075	総会葉書・諸表彰費 外
公益事業費	250,000	151,700	98,300	諸負担金
青年・女性 部 会 補 助	850,000	850,000	0	青年・女性部会へ
慶 弔 費	200,000	187,000	13,000	慶弔関係
2. 会 議 費	2,580,000	1,776,122	803,878	
会 議 費	2,580,000	1,766,122	803,878	総会・役員会外
3. 管 理 費	9,299,000	9,271,330	27,670	
給与・賞与	5,871,000	5,870,680	320	職員給料等
法定福利費	320,000	313,639	6,361	社会保険料等
福利厚生費	84,000	84,000	0	中退共掛金
旅 費	1,000,000	750,760	249,240	出張旅費等
通 信 費	400,000	387,300	12,700	電話・郵便料
備 品 費	50,000	0	50,000	
消 耗 品 費	100,000	97,760	2,240	事務用品等
印 刷 費	572,000	897,438	△ 325,438	総会議案書・葉書 コピー料
賃 借 料	566,000	566,000	0	事務所賃借料
公 租 公 課	70,000	70,000	0	各種税金
保 守 料	75,000	74,130	870	パソコン保守料
リ ー ス 科	91,000	90,228	772	ファックス
雑 費	100,000	69,395	30,605	
4. 予 備 費	455,963	0	455,963	
当期支出合計 (C)	25,407,963	22,369,763	3,038,200	
当期収支差額 (A) - (C)	△ 3,530,963	19,445	△ 3,550,408	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	0	3,550,408	△ 3,550,408	

第23回通常総会が、去る5月25日(月)原町市の第一イン原町で、実出席者111名、委任状802名、総数913名のもと開催された。

まず、酒井会長挨拶のあと、支部役員6名、会員増強功労者4名

優良経理担当者21名に会長から感謝状が送られ、更に設立当初から支部事務局として功労のあった鹿島の石井盛忠氏、浪江の伊藤善造氏に感謝状と記念品が伝達された。

続いて、福島県法人会連合会佐



瀬恒一専務、相馬税務署森 喬署長から、ご来賓のご祝辞をいただき、酒井会長が議長となつて議事が進行された。

議事は、平成9年度事業経過報告並びに収支決算と平成10年度事業計画(案)収支予算(案)承認の件、更に役員変更承認の件であったが、いずれも原案どおり可決承認された。役員の変更については会社役員変更又は死亡等に伴うもので、5名の新

しい役員が選任された。又新年度の事業計画では、組織率の向上と福利厚生制度(大型保障制度等)の普及に向け役員一丸となって取り組む方向で決議され、より充実した新年度へ向けスタートを切った。因みに本年の酒井会長のスローガンは「夢は限りなく、努力は惜しみなく」で字のごとく、会活性化に努力して参る予定である。

総会終了後には、受賞者も含み160名の大懇親会が行われ、時間の許す限り、親睦を深め終了した。

平成10年度  
**表彰者**

▼支部役員表彰

(敬称略)

▼会員増強功労者表彰

- |      |      |
|------|------|
| 原町支部 | 村上等  |
| 浪江支部 | 八牧通泰 |
|      | 箱崎俊夫 |
|      | 木場寿男 |
| 富岡支部 | 泉田重章 |
|      | 猪狩広安 |
| 浪江支部 | 飯館支部 |
|      | 齋藤嘉國 |
| 浪江支部 | 泉田隆  |

▼優良経理担当者表彰

- |      |                     |
|------|---------------------|
| 浪江支部 | 大沼治                 |
| 双葉支部 | 松本定雄                |
| 相馬支部 | 立谷品子<br>(南立谷商会)     |
|      | 田原口和子<br>(早川電気工業㈱)  |
|      | 石橋紀雄<br>(㈱馬陵タクシー)   |
|      | 渡部友子<br>(㈱山本建設)     |
| 新地支部 | 小賀坂夕子<br>(㈱小賀坂組)    |
| 鹿島支部 | 臺區恵美子<br>(東北サッシ販売㈱) |
| 原町支部 | 二谷恵美子<br>(㈱グレータ施行)  |
|      | 菅野飛鳥<br>(山企工業㈱)     |
|      | 佐藤由美子<br>(㈱神野石材工業)  |
|      | 玉木恵久子<br>(㈱はずめま)    |
| 飯館支部 | 大沢キノ<br>(㈱荒木屋)      |
| 小高支部 | 伏見信子<br>(㈱菅野萬正商店)   |
| 浪江支部 | 大内健一<br>(㈱大内商店)     |

浪江支部 箭内裕子

熊本綾子  
(株)双葉紙器

双葉支部 西えり  
(株)双葉ホンダモータース

大熊支部 渡辺史子  
(簡)梅田商店

富岡支部 半澤直子  
(東)日本緑化工業(株)

諸橋重信  
(南)双サービス(株)

本田広  
(南)双サービス(株)

富岡支部 村上佳生  
(桂)建設(株)

### ▼ 功労者表彰

石井盛忠  
伊藤善造

### ▼ 福島県法人会連合会福利厚生制度(大型総合保障制度) 推進表彰

大同生命職員の部

◇銀賞◇ 鈴木裕子



# 支部総会だより

## 原町支部



原町支部平成10年通常総会が、去る6月4日(木)午後4時から、相馬税務署法人課税第一部門統括官・早川進様始めご来賓のご臨席のもと、ホテル森の湯に於いて開催された。

本総会では、平成9年度の事業報告と収支決算及び平成10年度の事業計画(案)と収支予算(案)の審議を行いその承認を頂いた。平成10年度の事業として、ここ数年他

団体との共催で講演会を開催しているが、この他にも役員会で協議しながら、何らかの事業を実施していくこととなった。

又、事業の充実とともに当支部に於いては、法人会入会率が低いことから、皆様のご協力を得ながら、引き続き加入促進を図っていくこととした。

支部長 松永 輝彦

今の不況は、社会構造の変革が進行している中の大不況です。こんな時にこそ夢と希望を心に呼びおこし、難関を乗り越えましょう。

## 小高支部

平成10年6月10日、第23回小高支部総会を開催いたしました。

今回初めての試みとして、総会終了後、講演会を開催いたしました。その理由は、どの支部でも同様の悩みを抱えていると思います。総会に出席する会員が少ないからです。講師は、地元(株)上遠野コンピュータ会計専務取締役の門

## 支部別会員数

(平成10年3月31日現在)

支部名	H9. 3. 31 現在	H10. 3. 31 現在	増減
相馬	内21 397	内21 387	△ 10
新地	内 1 63	内 1 62	△ 1
鹿島	内 5 83	内 5 80	△ 3
原町	内22 385	内20 377	△ 8
飯館	内 1 34	内 3 38	4
小高	内 1 86	内 1 87	1
浪江	内17 274	内20 275	1
双葉	内 2 71	内 3 75	4
大熊	76	内 1 73	△ 3
富岡	内22 363	内20 339	△ 24
合計	内92 1,832	内95 1,793	△ 39

(注) 期首会員数 1,832  
期中増加 28  
期中減少 67  
期末会員数 1,793



馬弘氏、テーマは「超大不況時代ににおける中小企業の生き残りの決め手は何か」と題し、事例を交えながら分かりやすく講演いただき、好評でした。今後もこのような試みを続け、より多くの会員の方々に出席いただける総会にしたいと思います。

支部長 菅野 萬正

この1年間の支部長の成績の評価が、総会の会員出席数で結果がでると心配していたが、昨年比1割増しであった。

(株)上遠野コンピューター会計専務門馬弘氏の講話を取り入れたのが好評だった。講話の時間をもっとほしかったのと要望があった。

## 浪江支部

(社)相双法人会浪江支部総会は、

平成10年4月28日(火)午後5時30分よりホテル百足屋で出席者138名の中で開催され、来賓として相馬税務署長、浪江町長、浪江町商工会長、大同生命保険原町営業所長のご出席を賜り、熊川支部長が議長席に着き、議案の順序に従い第1号議案平成9年度事業報告並びに収支決算承認の件、第2号議案平成10年度事業計画(案)並びに収支予算(案)決定についてを上程し、両議案とも満場異議なく原案通り承認決定された。

次に、福利厚生事業の一環として大同生命保険の制度説明を原町営業所長より戴き、引き続き懇親会を行い、出席者一同、情報交換



等有意義な内に総会を終了することができた。

支部長 熊川喜八郎

会員の皆さんには、日頃法人会活動にご協力頂きありがとうございます。今年度も会員増強、又、会社・経営者が安心して活動出来るよう、大型保障制度加入を重点的にと考えておりますのでよろしくお願い致します。

## 双葉支部



双葉支部の総会は、去る5月22日(金)午後6時30分より、「よね牛」にて開催された。

松本支部長挨拶のあと、ご来賓のご祝辞をいただき、支部長議長

のもと平成9年度事業報告、収支決算と平成10年度事業計画(案)、収支予算(案)が審議され、また、役員辞任に伴う役員補充についても、原案どおり可決承認された。引き続き懇親会に入り、会員相互の親睦を深めつつ、和やかに終了した。

支部長 松本 定雄

今年度も支部活動を活発に展開し、会員の皆様に法人会に入ってくれたと喜ばれるような事業運営をしていきたいと思えます。

## 富岡支部

本年は5月18日(月)に富岡町「ウェディングプラザとりふじ」にて、第23回通常総会を開催致しました。相馬税務署の高橋法人課税第2部門統括国税調査官並びに坂本良二顧問のご祝辞をいただき、事業報告・決算・事業計画・予算案を満場一致で可決承認し、役員の補充については、新支部長に石川昭久氏、副支部長に秋元廣美氏、監査に黒沢英男氏が選出承認されました。

本年度は、6月にワード・エクセル・経理・CAD等のパソコン

講習会を開催し、9月には法人税法改正や特別減税に伴い、その要点や適切な処理方法について講習会を開催致します。



会員の資質向上を目的としたビデオ講習会（経営・税法）又、会員相互の新睦を図るために行うゴルフ大会

を開催します。年内中には先進地視察研修に行こうということで担当委員を決め、検討に入りました。いろいろな事業が盛り沢山あります。富岡支部は今年もがんばります。

## 飯館支部

（社）相双法人会飯館支部の第4回総会は去る5月20日、飯館村多目的集会所大会議室を会場として開催。

濱田幸政副支部長の開会の挨拶

に引き続き、高橋英明支部長が厳しさを増す国内の経済情勢の中、法人会は研鑽を積みながら事業を推進する旨の挨拶を述べた。

総会には来賓として菅野飯館村長、相馬税務署法人課税第一部門早川統括官、高橋村議会議長、菅野商工会長より祝辞を戴いたほか、青申会より小山副会長、地元の信用金庫の板倉支店長、大同生命の鹿保原町営業所長のご臨席を戴いた。

提案された2つの議案が可決され、伊藤副支部長よりの閉会の挨拶により総会を閉じた後、会場を移し、親睦と情報交換を目的として盛大に懇親会を開催した。

（社）相双法人会飯館支部第4回通常総会



支部長 高橋 英明  
今後とも全員増強による組織の強化を図りながら、地域に根を張る法人会として、事業活動の活性化を推進したいと思っております。

## 相馬支部

（案）が審議され、いずれも原案どおり可決承認された。  
今年度も、会員増強に特に力を入れ、会員加入率65%を目標とし組織強化を図る為に出席の方々へのご協力をお願いした。  
懇親会では、お互いに親睦を深め、情報交換の場となった。  
また、事務局担当職員相沢に変わり、鹿山俊信が新しく担当になることをお知らせをし、和やかに終了した。

支部長 桜井 文博

日頃は、法人会相馬支部の活動にご支援を賜りありがとうございます。本年度は、会員増強運動と税務研修会（簿記講習会）を重点事業として活動を展開したいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

## 新地支部

今年の総会は6月29日（月）、新地町農村環境改善センターにおいて開催された。午後3時渡部支部長があいさつし、続いて森相馬税務署長、荒新地町長、寺島町議会議長が来賓の祝辞を述べ議題に入る。第1号議案、平成9年度事業報

相馬支部の第23回定時総会が、5月18日（月）午後4時30分より、フドーラに於いて開催された。

総会には、ご来賓として（社）相双法人会長酒井利治様、相馬税務署法人課税第一部門統括官早川進様、大同生命保険（相）原町営業所長鹿保正晴様のご臨席をいただき、事業報告書・決算、事業計画・予算



告並びに収支決算承認の件、第2号議案平成10年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件が審議され、原案どおり可決承認された。

平成10年度事業計画

- (1) 税制改正に伴う講習会の開催
- (2) 機関誌並びに各種資料の配布
- (3) 会員相互の親睦を計るためのゴルフ大会の開催
- (4) 組織の強化を計るための会員増強、以上を柱に実施いたします。

支部長 渡部 昭三

会員の声を聴き、会員の為に役立つ会になるような支部の運営をしたいと思っています。皆さんの声を是非お聞かせ下さい。



# 大型保障制度新商品について

大同生命 鹿 俣 正 晴

初夏の候

会員の皆様におかれましては、ますますご隆昌のこととお喜び申し上げます。平素は、法人会の各種福利厚生制度でお世話になり、厚く御礼申し上げます。

さて、法人会の大型保障制度も発足以来現在加入企業22万社、加入者数で51万人を越え、さらに多くの会員の方々に大型保障制度をご利用いただくよう、取扱会社として全力で普及推進に取り組みると同時に、会員の方々のいろいろなニーズに対応できるよう、本年四月より「重度障害保障保険」と「通減定期保険Ⅲ型」の2つの新商品を発売いたしました。

「重度障害保障保険」は、重度の障害状態になった場合に保険金のお支払いをさせていただくもので、障害状態となった原因は病気・事故を問わず保障させていただくこと、日本で初めての生存給付型の商品です。特に、経営者が重度の障害状態になった場合の経

営に対する不安を、保障という面からカバーしていただくことができるものと確信しております。

又、「通減定期保険Ⅲ型」は、ご契約後2年目から保険期間終了時まで、毎年均等に保険金額が減少していくタイプの保険で、借入金の残高に見合った保障が提供できます。必要以上の借入金対策を講じている方、事業の立ち上げ時等当初の保障を厚くしたい方等、目的にあった保障にすることによりコストの低減につながるので、のではと考えております。

以上、2つの新商品の概略を説明させていただきましたが、保険に加入する目的をもう一度お考えいただき、より効果的・合理的なものとする為にも、現在、ご加入の各種保険の見直しをお願い申し上げます。



## 相馬税務署職員異動者名簿

平成10年7月10日発令

新 任 者				前 任 者	
課・部門	職 名	氏 名	前任 署	氏 名	発令事項
管理徴収	統括官	進藤 裕明	局徴収部	中村 孝一	局徴収部
個人二	統括官	鈴木 芳樹	局総務部	館山 亨	佐沼税務署 調査
法人一	統括官	菅原勝四郎	大館税務署	早川 進	局課二

国指定史跡

清戸迫装飾  
横穴墓壁画

— 双葉支部 —

昭和四十二年十一月三日、双葉町立南小学校の校舎新築移転工事にともない敷地を造成していたところ、偶然に壁画のある横穴墓が発見されました。東北地方では珍しいこの装飾横穴墓は、翌年に国の史跡に指定されました。



遺体を納める玄室には、ベンガラとよばれる顔料と筆を用いて壁画が描かれています。壁画は、古墳時代の終末期、今から約一三五〇年前に描かれたものと考えられます。図柄には、中央に七重の渦巻き文様があります。何を表しているか不明ですが、太陽を表しているとも魔除けの意味があるとも考えられています。右端には馬に乗った人物が描かれています。渦巻き文様の右隣には手をかざした人物があります。この人物の大き

十一面観世音座像

(文化財)

大同 年

坂上田村麻呂公が、奥州田村郡菅谷村大嶽根山を根拠地とする高丸と言う賊を平安後、御誓願があつ

て、前田村壺町木と言う所に堂宇を建立して本尊十一面観音(行基



さは七十四センチメートルあり、国内の壁画の中では最大規模です。また、髪形は当時の男性特有の「みづら」と呼ばれる結び方をしています。中央下段には、親子の鹿と向い合う猟犬、矢を放った狩人があります。これは狩りの風景を描いたものです。

この壁画は、一般に被葬者の生前の姿を描いた一代記であるともいわれており、当時の人達の生活をさぐる貴重な資料であると思われます。

菩薩作)を安置されたと伝えられている。

その後、元和2年酉年の春に、同村の極楽寺境内に移されたが、その寺は明治維新の際廃寺となつたので、明治5年目追村、現在の双葉町大字目追字長迫に堂宇を建立して、本尊十一面観世音を、お移し申し上げたと記録されている。

編集後記

◎参議院選挙で国民の審判が下った。国民にだけ痛い思いをさせ、明日の資産繰りの思いも知らない議員族、既得権をふりかざす議員族や、各党首も減税合唱を歌いあげ、その原資については聞かれずじまいに、この経済状況下では国民も声なき声を票にした。

◎金融問題や減税もいいが、行革の話を前面に打ち出して競った党もない。この欄にも書いたが、彼等が言う公務員定数2割カットを実現させ、更に、村から国にいたる全ての議員の定年制、当選回数と二世族の制限、総定数を半減させる位の痛みと議員に係る費用を節約した真摯な数字、彼等の既得権の制限を国民に表さなければ納得しないだろう。

◎この8号が皆さんの手に渡る頃には、相馬野馬追も終わり、暑い夏が来てほしいものだ!! 9号の表紙は、大熊支部の番!! 乞う、ご期待!!